救急搬送トリアージシート

	最も強い主訴・主症状	小 項 目		対象該当
対象症例	1 四肢の開放創 (上 肢 □・下 肢 □)	○ 肩関節、股関節部に創傷はない。□○ 指趾等の離断はない。□ 受傷部末梢の知覚麻痺はない。		
	2 前腕(肘関節を含む)・下腿 (膝関節を含む)の挫傷等 (前腕□・下腿□)	○ 上腕、大腿に挫傷等はない。 □		
	3 四肢の熱傷 (上肢 □・下肢 □)	○ 肩関節、股関節部に熱傷はない。□○ Ⅲ度熱傷ではない。 □○ 化学損傷ではない。 □○ 熱傷範囲は1%以下である。 □		
	4 耳鼻異物 (耳 □ · 鼻 □)	○ 異物は片側のみである。		
	5 鼻出血	○ 頭部、四肢等に他の外傷はない。□		
	6 限局的な皮膚症状(発赤等)	○ 全身症状ではない。○ 掻痒感、疼痛以外の身体症状(呼吸苦等)の訴えはない。□		
	7 不眠、不安、孤独感等	○ 合併する身体症状(動悸、頭痛等)の訴えはない。		
対象症例に該当なら以下を記載				
一般項目	1 15歳以上64歳以下である。		は い□	いいえ口
	2 重症と判断すべき受傷機転等に該当しない。 (救急活動基準(救急行動要領)第3章重症度・緊急度判断要領による。)		は い口	いいえ口
	3 受傷部位は1か所である。(対象症例1~3) (創傷が複数の場合右上肢、左下肢など同一部位に限局しているか。)		は い口	いいえ口
	4 現在治療中の以下の疾患等はない。 (1)心疾患(2)呼吸器疾患(3)高血圧(4)透析患者(5)糖尿病(6)薬物中毒(7)肝硬変(8)出血性疾患(紫斑病・血友病等)(9)悪性腫瘍(10抗凝固薬服用		は い口	いいえ口
	5 自損行為による事故ではない。		は い口	いいえ□
	6 十分な意思疎通が可能である。 (著しい動揺、興奮等はないか。)		は い□	いいえ□
	7 対象症例の悪化を予見させる不安要素がある。		は い□	いいえ□
バイタルサイン等	1 意識は清明である。		は い□	いいえ□
	2 呼吸数は12回/分~24回/分で、性状に異常はない。		は い口	いいえ口
	3 脈拍数は60回/分~96回/分で、不整はない。		は い□	いいえ口
	4 血圧は110mmHg~160mmHg(収縮期)の範囲である。		は い□	いいえ口
	5 SpO ₂ は95%以上である。		は い口	いいえ口
	6 出血はない(止血状態)、又は少量(滲出性)である。		は い□	いいえ口
	7 受傷部関節の可動域に障害はない。		は い口	いいえ口
	8 自力受診のための移動が可能である。 (自力歩行、東京民間救急コールセンターの利用等による受診が可能か。)		は い口	いいえ口